

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
366冊 (242人) 11/2 現在

(自分に自信と夢を～いまをだいに、なかまとともに、一歩前進をめざして～) 校長 宮脇真一

先週、台湾出張のため一週間学校を留守にしていました。久しぶりに学校に帰ってくると、サクラソウの苗が並んでいました。5月2日付の通信で、「種」を紹介しましたが、いまここまで大きくなっています。来春の卒業・進級に向け、サクラソウも日々成長しています。

今週から11月。実りの秋、真っ最中です。



5/2に掲載した「種」の「いま」
(2023/11/2 撮影)

大津町児童生徒集会 なかまとともに～

「部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会」に、4年生以上の児童（希望者）と職員、130名で参加してきました。

当日は、人権委員会の児童と6年生が、会場に集まった他校の「なかま」の前で日頃の取組を堂々と発表しました。発表表後の会場からは、名前に「さん・くん・ちゃん」を付けて呼び、互いの名前を大切にするという取組がとても参考になったとの内容をはじめ、たくさんのお返しをもらいました。また、集会が終了し、バスを待っている時、大津北中のリーダー（生徒）が主体的になかまに声をかける様子を見て、「あんな中学生になりたい」と思った児童もいたようです。

校内だけでなく、大津町の多くのなかまの存在を確認することができた集会でした。



大津北中学校での発表の様子

ほうこく ～海を渡って～

大津町は平成28年から、台湾・高雄市との交流を行っています。本校も、福山国民小学校との間に姉妹校の協定を結んでおり、これまでに2回、福山小学校から児童・保護者が来校されています。しかし、この3年半の間は感染症の拡大のため交流が途絶えていました。そこで、今回高雄市の教育局（教育委員会）や姉妹校の福山国民小学校を訪問し、今後の交流再開に向けた打合せを行ってきました。前回の交流時に本校校長であった吉良教育長先生、福山小学校の校長であった李校長先生（現在は勝利小学校長）も再会され、交流再開に向けたアドバイスもいただきました。

今後、英語の授業でオンラインでの交流を実施する予定で、現在、準備を進めています。



学校の紹介を行いました。



校内にはこんな「歓迎」も